



発行：相模原災害ボランティアネットワーク ホームページ：[www.sagami-portal.com/hp/dnt101144](http://www.sagami-portal.com/hp/dnt101144)  
連絡先・お問合せ先メール：[ssvn00000info@gmail.com](mailto:ssvn00000info@gmail.com)

## 代表挨拶

近年、海溝型地震の周期的な発生に加え、南海トラフ地震のエネルギー蓄積が深刻化しています。地球温暖化による気候変動も激甚化し、毎年のように自然災害が頻発しています。一方、少子高齢化と人口減少は、ボランティア活動の担い手不足という新たな課題を生み出しています。当会では、事業計画に基づき様々な活動を展開してきました。講座の参加者の評価は良好ですが、会員の参加率向上は依然として大きな課題です。会の発展は、地域全体の防災力向上に不可欠です。そのためには、会員一人ひとりの積極的な参加と協力が欠かせません。災害への備えと地域社会への貢献という目標に向かって、共に知恵と力を出し合い、活動の輪を広げていきましょう。皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

## 災害ボランティア入門講座

2024 5月25日

災害時に災害救援ボランティア活動をして頂く方のための入門講座をあいさい会館で行いました。

- ボランティア活動全般の基礎知識
- 災害救援ボランティアとは（災害ボランティア活動の目的・内容・種類、ボランティアをする上で必要なスキル、活動のメリットなど）

- 災害ボランティアセンターとは（災害ボランティアの代表的な活動先として紹介、相模原市災害ボラセンについて、ICTについて）
- SSVNの活動紹介(平時の活動)、相模原市の被災時の体制(市社協とSSVNの連携)

などの講義の後、会員3名による実際の活動報告が行われました。19名の参加があり、具体的な事例報告に好意的な意見を頂いた中、限られた時間内でどの様にテーマを絞っていくのか課題も残りました。



## みんないいひと講座

コロナ騒動五類移行後、久々の出前講座依頼が相武台中学校からあり、6月10日（月）13：30より、市社協の企画に基づき、中学1年生36名と他の団体と共に共同開催された。SSVNスタッフ4名も参加して、当日は梅雨入り間近の、雲間から薄日差す。蒸し暑い陽気であったが、生徒達は日頃なじみのない災害現場のビデオ映像を目を丸くしてジートかたずを飲んで、珍しそうに視聴していた。その後、校庭に出たの避難テント設営訓練には、ロープワークの結び方に戸惑いを感じながら、性格が内気でなかなか仲間に入れない生徒や、立ちすくむ手も出せない生徒達に特に配慮し、目配りしながら、何とか二張りのテントを張り終えた頃には、生徒達もすっかり雰囲気、慣れてきた様子で、テント内に入ってガヤガヤはしゃぐ様子を拝見して、ほっとした。

（藤田記）



## 災害ボランティアセンター

### 立ち上げ訓練

市社協（相模原市社会福祉協議会）との共催で、市民会館をお借りして行いました。

最近多くの災害救援ボランティアセンターで導入が進んでいるICTを利用した立ち上げ訓練です。目的は

- ・災害救援ボランティアセンターにおける活動者と運営スタッフの両方の視点での訓練を通じて、ICT（情報通信技術）を活用したセンターの受付から報告の流れを学ぶ
- ・災害救援ボランティアセンターの運営スタッフとして活動する際に、活用する可能性が高いKintone（キントーン）について理解を深める

Kintoneの導入により

- ・情報管理の効率化や紙の削減など、今までの災害救援ボランティアセンターの事務面での負担軽減を図れる
- ・手続きの簡素化により活動前後のボランティアの待機時間を削減できる
- ・ニーズの対応状況に合わせて、ボランティアの募集人数をあらかじめ絞り込むことが出来る
- ・スマートフォンやタブレットを使って、現地捜査等の結果や写真を即座にアプリ上に反映出来るため、情報共有がしやすい

などのメリットが期待できます。当日は、受付からオリエンテーション、マッチング、活動報告等の作業の体験訓練を行いました。8名の会員参加があり、皆さん積極的に作業にあたり成果の見える訓練になりました。今回は皆さんのスマートフォンへの登録がスムーズに行えましたが、実際の現場活動ではスマートフォンの扱いに慣れない方への対応に留意が必要と認識出来ました。

## 団体会員ご紹介

### 相模原ボランティア協会

相模原ボランティア協会は昭和 56 年に設立、「助けあう心やさしい心ありがとうの心つながあう手」を合言葉に連絡所を相模原市立あじさい会館 2 階に置き、相模原市内を拠点として、ボランティア活動をおこないたい方、支援を必要としている方との橋渡しとして様々な活動をおこなっております。

現在、会員は 115 名、主な活動は、

1. 当協会所有の車椅子でも乗れる車、もしくは会員の自家用車を用いた「ハンディキャブ号」を運行しての移動支援活動
2. 「話を聴いてほしい」という方へ心と耳を傾けてお話を伺う「傾聴活動」
3. 市内各団体と協働してボランティア活動へのきっかけづくりや支援を必要とする方への理解を深める啓発や交流を目的としたイベントや講座を開催。

この 3 つを大きな柱として活動しております。

災害ボランティアへのかかわりとしては、ご利用に条件はありますが、平時の災害防止として、ご自宅の家具転倒防止を購入材料費のみご負担で行っているほか、福祉的な視点を用いて SSVN 主催講座のお手伝いをおこなっております。

これからも、「公的制度の狭間」への支援、相模原市のボランティア人口を拡げる団体として、様々な方や団体と繋がっていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

ホームページ: <https://sagamiva.info/>

## 会員スキルアップ研修

「ブルーシートテント作り」と「ロープワーク」の実習

目的: 会員を対象に災害時や平時の活動に必要な知識や技術を身に付けることを目的とする。

日時: 9月15日(日) 13:30~16:30

場所: あじさい会館 6 階ボランティア活動室

始めに、今回使う「リーフ・ノット(本結び)」、

「トートライン・ヒッチ(自在結び)」、「クローブ・ヒッチ(巻結び)」の練習後、ポイント指導を受けながらブルーシートを使ってチームで仮設テントを設営しました。夏型と冬型の工夫に驚きました。災害の現場ではもちろん、福祉体験講座で中学生に教えたり、防災知識として市民の皆さんに啓発する場面で役立つとの事なのでその時に備えて繰り返しの練習が必要だと思いま

した。(池田記)

## さがみはら市民活動フェスタ(サポセンフェスタ)

10月6日淵野辺公園 中央広場で行われたフェスタに参加しました。36の市民活動団体がブースを出し各種の展示が有り、我々は綿あめとホットコーヒーを提供し 時間によっては行列ができるほど盛況でした。また SSVN のチラシを配布して活動を紹介しました。



## 双葉小学校避難所指定 7 自治会合

### 同自主防災訓練

- 合同自主防災訓練の目的

これまで阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災・能登半島地震など大規模な地震が発生し、甚大な被害に見舞われている。国・県・市ではこの様な災害の教訓から防災計画を見直し対策を行ってきた。本市においても南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、私達の住む近隣や地区、関係自主防災隊が連携・協調し、平時にできる災害対策を充実しなければならない。25 回目となる今年度は一般市民の防災意識を高揚させる為の啓発訓練を実施し、地域の更なる防災対応力の向上を期し合同防災訓練を実施する。

- 訓練項目

避難誘導訓練、情報連絡訓練、初期消火訓練、救出救助訓練、応急救護訓練、要支援者支援訓練、起震車体験訓練、煙体験訓練、防災ワークショップ

相模原市消防局、陸上自衛隊の協力を得て、大野地区 2 自治会、大野中地区 1 自治体、相模台地区 4 自治体から約 500 名の参加があり、SSV は防災ワークショップの一つとして災害ボランティアの被災地報告を行いました。ボランティア活動に関する具体的な質問もあり有意義なワークショップになりました。



## 災害ボランティアコーディネーター

### 養成講座

10 月 26 日、市民会館 3 階 第一中会議室で 6 名の参加者がありました。プログラムは

- SSVN の紹介、市社会福祉協議会との連携
- ボランティアの基礎、災害ボランティアとは
- 災害ボランティアセンターの機能と位置づけ
- スマホを使った災害ボランティアセンター運用の体験, 事例対応シミュレーション（ニーズ対応の考え方）

午前中の座学の後、午後は実際にスマホを利用して QR コードの読み取り練習を通じて実際の災害ボランティアセンターでの受付から、マッチング、送り出し、活動報告までの流れを体験します。講座後のアンケートからは災害ボランティアセンターの運営について理解を深めることが出来た、より広い世代に SSVN の活動を広めてほしい等のコメントのほか、参加者が少なかったのが残念だったのご意見を頂きました。



#### 【編集後記】

防災に関する知識を身につけ、日頃から備えておくことで、いざという時に冷静に行動することが出来ます。これからも防災・減災のための活動を行っていきます。皆様の参加をお待ちしています。(文責 越山滋雄)

連絡先・お問合せ先メール:

[ssvn00000info@gmail.com](mailto:ssvn00000info@gmail.com)